

「日本の中学校と高等学校における英語教育の理念や目的と
言語活動の実践に関する教員意識調査」への
ご協力をお願い

現在日本の英語教育は大きな転換期に差し掛かっています。グローバル化に対応した新たな英語教育として、中学では授業を英語で行うことを基本としたり、高等学校では発表、討論、交渉等のより高度化した言語活動を授業に取り入れるなど、英語教育の改革に関するさまざまな提言がなされています。そして、それらは次期学習指導要領に反映されることになるでしょう。

本アンケートは、公益財団法人日本英語検定協会の英語教育研究センターからの委託研究として、上智大学言語教育研究センターのセンター長、吉田研作を中心とした研究班が実施しています。本調査では、中学校や高等学校の英語教員のみなさまのご意見を集約して、今後の英語教育を考える際の参考として、また、次期学習指導要領の策定のための資料として文部科学省や教育委員会などに活用していただくことを主な目的としています。そのため、できるだけ多くのご協力をいただきたいと思います。

本アンケートにご回答いただいた情報は、本調査の目的以外には使用いたしません。また、個人が特定できるような情報は一切公表いたしません。調査結果につきましては、英語教育関連の情報誌、学会誌等を通して公表する予定ですが、個人的に研究報告書を送付希望の方はアンケートの最後のご意見欄にメールアドレスと送付希望の旨お書きください。研究報告書ができましたら、デジタル媒体でお送りいたします。本調査に関するご質問等ございましたら、yosida-k@sophia.ac.jp までご連絡ください。

みなさまのご協力をよろしくお願いいたします。

研究班代表 センター長
教授 吉田研作

下記URLまたはQR コードよりアンケートにアクセスしてください。

<https://jp.surveymonkey.com/s/MX5JBWW>

